

わが校のストップいじめアクションプラン

いじめの未然防止、早期発見・早期対応

東近江市立能登川西小学校

めざす児童

いじめ しない、させない、見逃さない

子どものアクション

- ☆いじめのない明るく楽しい学校・学級づくり
 - ・さわやかなあいさつで人間関係づくり「あいさつ運動」
 - ・たてわり活動 下学年の面どうをみる
 - ・各学級、毎日の帰りの会での「かがやき」(友達・自分の善行)発表
 - ・各学級の「人権宣言」
 - ・人権標語づくりと応募
 - ・月1回の「おあしす相談」
- ☆児童会によるいじめ防止運動
 - ・人権アピール

家庭・地域と連携したアクション

- ☆PTA地区懇談会での話し合い
- ☆PTA学級懇談会
- ☆参観、通信、HP等を通して理解と連携、呼びかけ
- ☆学校評議委員会での取組の説明

教職員のアクション

- ☆ 未然防止
 - 「いじめを絶対許さない」学校づくりに向けての共通理解・共通実践を進める
 - ・「いじめは絶対に許さない。いじめられている人を守り通す。」ことを、児童・保護者・地域の人々に宣言する。
 - ・わかる授業、魅力ある授業に努め、授業を通して「自己存在感」「自己決定の力」「共感的人間関係」を育む。
 - ・道徳教育の充実を図り、「人権感覚の磨き」「正義や思いやりの心」「規範意識の醸成」を育む。
 - ・特別活動(児童会活動、クラブ活動、たてわり活動、学級活動)において豊かな人間関係を育む力を育成し、いじめをしないさせない学校づくりをする。
 - 毎月の全校「かがやき」(善行)表彰
- ☆ 早期発見
 - 「あのね週間」
 - ・毎学期、中頃に子ども一人一人に悩み事やみんなの前では言えないことなどを聞き取り早期発見するとともに、子どもとの信頼関係の構築に努める。
 - 「おあしす相談」
 - ・話しやすい人、話しやすい環境で(子どもの目線に立って)相談を受けるなど、全職員で子どもを育てる組織的な相談体制でその充実を図る。

現状課題

- ・単学級の学年が多く、小さい時からのつながりが強く、いざという時の仲裁者になれない。
- ・教職員の人間力、教師力を身につける研修を通して感性を磨く必要がある。
- ・いじめ、人権に関して地域ぐるみで子どもを見守る取組が必要である。